

**② 教養試験 15 : 25 ~ 16 : 10**

**一般教養・教職教養**

マークシート記入上の注意

- 1 解答は、全てマークシートの問題番号に対応した解答欄に記入しなさい。
- 2 判別できないマークは、誤答となります。
- 3 解答の訂正は消しゴムで消し、くずはマークシートからきれいに取り除くこと。
- 4 受験番号は6桁の数字を記入し、0（ゼロ）を含む6桁全ての数字にマークすること。
- 5 氏名や受験番号を間違えて記入した場合、評価は行いません。
- 6 試験終了後のマークシート記入や確認は一切認められません。

諸注意

- 1 試験中は、ガムや飴等を含め一切の飲食は禁止です。
- 2 試験開始後は試験終了まで退室することはできません。
- 3 試験中トイレに行きたくなったり、気分不良の際は、挙手して申し出て下さい。
- 4 問題やマークシートで印刷の不明な点がありましたら、挙手して申し出て下さい。
- 5 試験開始後に受験者本人と写真票の確認をします。

# 一 般 教 養

## 1 次の各問いに答えよ。

(1) 次の文の下線部の敬語の使い方として最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ① 私の母もそうおっしゃっていました。
- ② どうぞ、食事をいただきてください。
- ③ 先生が、我々に丁寧に説明いたした。
- ④ お客様はすぐにお食べになられた。
- ⑤ お名前は前から存じ上げております。

(2) 新元号「令和」の出典である古典作品として最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ① 万葉集    ② 古今和歌集    ③ 千載和歌集    ④ 古事記    ⑤ 風土記

## 2 次の各問いに答えよ。

(1) 次の英文を、「動物アレルギーの人はたくさんいます」という意味の文にするとき（    ）にあてはまるものとして最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

Many people are allergic (    ) animals.

- ① on            ② with            ③ to            ④ about            ⑤ through

(2) 次の英文の対話を読み、下の〔設問〕に対する答えとして最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

A : I'm looking for information about acid rain.

B : Well, for starters you might check the online catalog under "ecology."

A : I'll do that, thank you.

B : For general information about ecology you can also try the encyclopedias.

A : Of course, thanks. Well, I'd like to find some articles, too.

B : \*Periodical indexes serve as guides to the contents of magazines and journals. Look in an index for the subject labeled, "acid rain."

A : I see. Thank you.

B : Also, we have a vertical file with collected clippings on special subjects.

\*Periodical indexes 定期購読

〔設問〕 Where does this conversation probably take place?

- ① At a pharmacy.
- ② At a publishing company.
- ③ At a city hall.
- ④ At a police station.
- ⑤ At a library.

3 次の各問いに答えよ。

(1) 17世紀にはイギリスとフランスによって西インド諸島が領有されたが、ここで生産されたある商品は、需要が激増して重要な国際商品となっていった。この商品の生産には多くの労働力が必要で、西アフリカからの奴隷が早くから導入された。この商品として最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ① 砂糖      ② 茶      ③ ジャガイモ      ④ カカオ      ⑤ 銀

(2) 令和2年1月現在における参議院議員選挙に関する記述として最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ① 人口に応じて、47都道府県すべてに1名以上の定数を振り分けている。
- ② 定数は選挙区選出が146名、比例代表選出が96名の合計242名である。
- ③ 任期は6年で、3年ごとに半数が改選されるが、解散の時は任期満了前に改選する。
- ④ 比例代表選挙に各党が一部に拘束名簿式を活用するか決められる特定枠がある。
- ⑤ 全国を11区に分けた比例区ごとに、政党名か政党の候補者名簿の中の個人名を投票し、政党の得票数に応じて当選者を定める非拘束名簿式比例代表制をとっている。

(3) 世界の南北問題や経済成長に関する記述として最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ① 発展途上国への効果的な援助の調整や促進を目的に、国連に国連貿易開発会議が設置されている。
- ② 2015年の国連総会において、発展途上国の課題の解決を目指した目標として、「誰一人取り残さない」をスローガンに15の目標から成るSDGsが策定された。
- ③ 高い経済成長が予想されるBRICSとはブラジル、ロシア、インド、中国、サウジアラビアのことである。
- ④ 貧しい人に資金を無担保で制限無く融資し、自活を支援する取り組みをマイクロクレジットという。
- ⑤ フェアトレードは、環境や人にやさしい方法で発展途上国の人々がつくった商品を、公正な値段で継続的に購入し、彼らの自立を支援することである。

(4) 国際社会の主な動きに関する記述として誤っているものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ① 2016年に開催されたりオデジャネイロオリンピック・パラリンピックにおいて、初めて「難民選手団」が結成され、内戦などで祖国を離れざるを得なかった選手たちにも歓声がおくられた。
- ② 2018年にアジア版のオリンピックともいわれるアジア競技大会において、初めて「eスポーツ」が公開競技となるなど、日本でもプロリーグやプロチームが設立されている。
- ③ 2019年に有害廃棄物の国境を越えた移動を規制するバーゼル条約が改正されたことにより、汚れた廃プラスチックは輸入国政府の同意がなくても輸出できるようになった。
- ④ ファンドとは、個人や企業からお金を集め、それをもとに投資会社などが運用することであり、近年、特定の事業を応援するためのファンドが人気を集めている。
- ⑤ 2016年、エチオピアとジブチを結ぶアフリカ初の電気鉄道が開通した。この鉄道は中国の銀行が大半を出資しており、中国はアフリカでのインフラ事業や農業開発に積極的に関与している。

(5) 世界の気候に関する記述として最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ① 熱帯は赤道付近の低緯度に広がり、一年中気温が高く降水量も多いため、ステップが広がっている。
- ② 乾燥帯は陸地全体の4分の1を占め、降水量は少なく、年間の総蒸発量が総降水量よりも多い。
- ③ 温帯は四季の変化が明瞭で人間活動が最もさかんな気候帯であり、サバナ気候と温暖湿潤気候の2つに分けられる。
- ④ 亜寒帯は樹木が育つ気候のうち最も寒冷な地域であり、南半球にもみられ、寒帯は亜寒帯よりも寒さが厳しく、降水量が少ない。
- ⑤ 高山気候区として区分される高地は、同緯度の低地に比べて気温が低く日較差は大きいですが、年較差は低緯度地方の方が中・高緯度地方よりも大きい。

(6) 琉球王朝時代、首里城建築用の材木を切り出して運ぶ情景を歌った木遣り歌として最も適当なものを、次の①から④までの中から一つ選び、記号で答えよ。 10

- ① 汗水節      ② 上り口説      ③ ヒヤミカチ節      ④ 国頭サバクイ

4 次の各問いに答えよ。

(1) 密度 $9.2 \times 10^2 \text{kg/m}^3$ の氷を、密度 $1.02 \times 10^3 \text{kg/m}^3$ の塩化ナトリウム水溶液の上に浮かべた。氷の液面から出ている部分の体積は、氷全体の体積の何%に当たるか。最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。 11

- ① 9.2%      ② 9.8%      ③ 10%      ④ 10.2%      ⑤ 10.9%

(2) 水素の発生方法として最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。  
12

- ① 亜鉛に希硫酸を加える。  
② 銅に希硝酸を加える。  
③ 炭酸カルシウムに希塩酸を加える。  
④ 塩化ナトリウムに濃硫酸を加える。  
⑤ 酸化マンガン (IV) に過酸化水素水を加える。

(3) 炭水化物は糖類ともよばれ、単糖類、二糖類、多糖類に分けられる。二糖類と多糖類の組み合わせとして最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。 13

- ① 二糖類—グルコース、多糖類—デンプン  
② 二糖類—グルコース、多糖類—フルクトース  
③ 二糖類—マルトース、多糖類—セルロース  
④ 二糖類—マルトース、多糖類—ガラクトース  
⑤ 二糖類—ラクトース、多糖類—スクロース

(4) 化石に関する記述の（ア）から（ウ）にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。 14

かぎ層と呼ばれる火山灰層と同じように、化石の中で（ア）は地層の対比に使うことができる。これは生存していた時間が（イ）く、生息領域が（ウ）かったためである。

- ① ア 示相化石    イ 長    ウ 広
- ② ア 示準化石    イ 短    ウ 広
- ③ ア 示相化石    イ 短    ウ 狭
- ④ ア 示準化石    イ 短    ウ 狭
- ⑤ ア 示相化石    イ 長    ウ 狭

(5) 令和元年6月28日に公布施行された「学校教育の情報化の推進に関する法律」の第10条～第21条には「学校教育の情報化の推進の施策」が示されている。この施策に含まれていない内容を、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。 15

- ① デジタル教材等の開発及び普及の促進
- ② 教科書に係る制度の見直し
- ③ 障害のある児童生徒の教育環境の整備
- ④ いじめを受けた児童生徒に対する教育の機会の確保
- ⑤ 学校における情報通信技術の活用のための環境の整備

# 教 職 教 養

## 1 次の問いに答えよ。

次の文は、地方公務員法第三十条、第三十二条、第三十四条の条文の一部である。文中の [16] ~ [18] に入れるのに最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

第三十条 すべて職員は、[16] として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当つては、全力を挙げてこれに専念しなければならない。

第三十二条 職員は、その職務を遂行するに当つて、法令、条例、地方公共団体の規則及び地方公共団体の機関の定める規程に従い、且つ、上司の職務上の [17] に忠実に従わなければならない。

第三十四条 職員は、職務上知り得た [18] を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

- |      |         |           |         |
|------|---------|-----------|---------|
| [16] | ① 教育公務員 | ② 公権力の行使者 | ③ 地方公務員 |
|      | ④ 教育者   | ⑤ 全体の奉仕者  |         |
| [17] | ① 指示    | ② 指導      | ③ 助言    |
|      | ④ 命令    | ⑤ 提案      |         |
| [18] | ① 秘密    | ② 個人情報    | ③ 成績    |
|      | ④ データ   | ⑤ 未公開情報   |         |

## 2 次の問いに答えよ。

次の文は、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成二十五年法律第六十五号）の条文の一部である。文中の [19] ~ [22] に入れるのに最も適当なものを、次の①から⑤の中から一つ選び、記号で答えよ。

第一条 この法律は、[19]（昭和四十五年法律第八十四号）の基本的な理念にのっとり、全ての障害者が、障害者でない者と等しく、基本的人権を享有する個人としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有することを踏まえ、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項、行政機関等及び事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置等を定めることにより、障害を理由とする差別の解消を推進し、もって全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら [20] する社会の実現に資することを目的とする。

第五条 行政機関等及び事業者は、 の除去の実施についての必要かつ  を的確に行うため、自ら設置する施設の構造の改善及び設備の整備、関係職員に対する研修その他の必要な環境の整備に努めなければならない。

- ① 教育基本法  
② 障害者の権利に関する条約  
③ 障害者基本法  
④ 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律  
⑤ 障害者の雇用の促進等に関する法律

- ① 協力            ② 共生            ③ 共存            ④ 共栄            ⑤ 共同

- ① 社会的障壁                            ② 社会的バリアー                            ③ 公共的障壁  
④ 公共的障害                            ⑤ 個人的バリアー

- ① 福祉的な配慮                            ② 福祉的な支援                            ③ 合理的な気配り  
④ 合理的な配慮                            ⑤ 合理的な支援

3 次の各問いに答えよ。

(1) 次の文は、中学校学習指導要領（平成29年3月告示）解説 総則編（平成29年7月）第3章教育課程の編成及び実施 第1節中学校教育の基本と教育課程の役割の一部を抜粋したものである。文中の  ～  に入れるのに最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

教育課程はあらゆる教育活動を支える基盤となるものであり、学校運営についても、教育課程に基づく教育活動をより効果的に実施していく観点から  運営がなされなければならない。カリキュラム・ は、学校教育に関わる様々な取組を、教育課程を中心に据えながら  的かつ計画的に実施し、教育活動の質の向上につなげていくことであり、本項においては、中央教育審議会答申の整理を踏まえ次の三つの側面から整理して示している。具体的には、

- ・ 生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を  な視点で組み立てていくこと、
  - ・ 教育課程の実施状況を  してその改善を図っていくこと、
  - ・ 教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと
- などを通して、教育課程に基づき  的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくことと定義している。

また、総則の項目立てについても、各学校におけるカリキュラム・ を円滑に進めていく観点から、教育課程の編成、実施、 及び改善の手続を踏まえて、①中学校教育の基本と教育課程の役割（第1章総則第1）、②教育課程の編成（第1章総則第2）、③教育課程の実施と学習  （第1章総則第3）、④生徒の発達の支援（第1章総則第4）、⑤学校運営上の留意事項（第



1章総則第5), ⑥道徳教育に関する配慮事項(第1章総則第6)としているところである。各学校においては, こうした総則の全体像も含めて, 教育課程に関する国や教育委員会の基準を踏まえ, 自校の教育課程の編成, 実施, 26 及び改善に関する課題がどこにあるのかを明確にして教職員間で共有し改善を行うことにより学校教育の質の向上を図り, カリキュラム・24 の充実に努めることが求められる。

- |   |                        |          |
|---|------------------------|----------|
| <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">23</span> ① 協同<br>④ 管理         | ② 自主<br>⑤ 組織           | ③ システム   |
| <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">24</span> ① デザイン<br>④ マネジメント   | ② ストラテジー<br>⑤ PDCAサイクル | ③ プランニング |
| <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">25</span> ① 領域等複眼的<br>④ 教科等縦断的 | ② 領域等横断的<br>⑤ 教科等学際的   | ③ 教科等横断的 |
| <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">26</span> ① 評価<br>④ 振り返り       | ② アセスメント<br>⑤ 査定       | ③ チェック   |

(2) 次の文は, 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総則編(平成30年7月)第3章教育課程の編成 第1節高等学校教育の基本と教育課程の役割の一部を抜粋したものである。文中の27・28に入れるのに最も適当なものを, 次の①から⑤までの中から一つ選び, 記号で答えよ。

もとより, 高等学校教育としては, 課程や学科の別を問わず, その目標とするところが変わりはないが, 教育課程としては, 必修教科・科目の履修や卒業に必要な74単位以上の修得を共通の基礎要件とし, これに加えてそれぞれの課程や学科の特色を生かした教育を行うことを考えて編成する必要がある。

特に27の課程においては, 勤労青年のほか, 多様な入学動機をもつ者, 生涯学習の一環で学ぶ者など, 生徒の実態が多様化していることを踏まえ, 各学年への各教科・科目の配当を弾力化するなどの教育課程編成上の工夫や, 個に応じた指導を充実する観点から, 学年による教育課程の区分を設けない単位制による課程の活用を進めるとともに, 多様な学習の機会を確保していくため, 28等の自校以外の学習成果の単位認定制度の積極的な活用が望まれる。

- |   |        |        |        |        |
|---|--------|--------|--------|--------|
| <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">27</span> ① 全日制  | ② 定時制  | ③ 通信制  | ④ 総合制  | ⑤ 単位制  |
| <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">28</span> ① 現業振替 | ② 業務代替 | ③ 作業振替 | ④ 勤労代替 | ⑤ 実務代替 |

4 次の問いに答えよ。

次の文は、「高等学校における通級による指導の制度化及び充実方策について」（高等学校における特別支援教育の推進に関する調査研究協力者会議 報告）（平成28年3月31日文科科学省）の一部を抜粋したものである。文中の [ 29 ] ～ [ 31 ] に入れるのに最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

通級による指導の制度化は、障害のある生徒を特別な場に追いやることを意図するものではなく、通常の学級での学習におおむね参加することを前提とした上で、当該生徒が自立や社会参加を果たす上で必要となる、障害による学習上又は生活上の困難の改善・克服に資するものである。

この意味で、障害者が精神的・身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加すること等の目的の下で、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みとしての「 [ 29 ] 」の理念を具現化するものであると言える。

高等学校における通級による指導の制度化は、従来、小・中学校等において通級による指導を受けていた生徒にとっては、その指導の [ 30 ] 等を踏まえながら、高等学校においても引き続き、大部分は通常の学級での学習を受けつつ、一部特別な指導を受ける機会が提供されることとなり、小・中学校等からの [ 31 ] をより一層確保することにつながると言える。

- |        |               |                  |                 |
|--------|---------------|------------------|-----------------|
| [ 29 ] | ① 合理的配慮       | ② 特別支援教育システム     | ③ インクルーシブ教育システム |
|        | ④ 障害者基本法      | ⑤ 障害者差別解消法       |                 |
| [ 30 ] | ① 安心感と継続性     | ② 個別の支援計画        | ③ 個別の教育支援計画     |
|        | ④ 教材や内容の引継ぎ   | ⑤ 成果や課題          |                 |
| [ 31 ] | ① 学びの継続性      | ② 学びの連続性         | ③ 個別の深い学び       |
|        | ④ 自己肯定感を高める学び | ⑤ 一人一人のニーズに応じた学び |                 |

5 次の各問いに答えよ。

A 次の文は、「沖縄県教育大綱」（平成29年6月沖縄県）第4 施策展開の4 教育の機会均等を図るための子どもの貧困対策の推進（子どもの貧困対策の推進）の一部である。文中の [ 32 ] ～ [ 34 ] に入れるのに最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

- (1) 子どもの貧困対策を推進するに当たっては、支援を必要とする子どもとその家庭の実情の理解に努め、全ての子どもが最低限享受すべき生活や教育の機会を権利として保障する観点から、子どもの [ 32 ] に即して切れ目のない、また、個々の子どもが抱える問題状況に対応した総合的な施策を実施する。
- (2) 子どもの貧困を自己責任論ではなく、社会全体の問題として、また、貧困の世代間連鎖を断ち切り、次世代の沖縄を担う人材を育成する施策として取り組み、潤いと活力をもたらす沖縄らしい [ 33 ] を実現する。

(3) 教育の支援においては、学校を子どもの貧困対策のプラットフォームと位置付け、学校教育による  の保障、学校を窓口とした福祉関連機関との連携及び経済的支援を通して、総合的に対策を推進する。

- |                                 |           |           |           |
|---------------------------------|-----------|-----------|-----------|
| <input type="text" value="32"/> | ① 成長      | ② 発達      | ③ ライフイベント |
|                                 | ④ 段階      | ⑤ ライフステージ |           |
| <input type="text" value="33"/> | ① 優しい社会   | ② 伝統的な社会  | ③ ユイマール精神 |
|                                 | ④ 知の循環型社会 | ⑤ 相互扶助の精神 |           |
| <input type="text" value="34"/> | ① 人間力     | ② 学力      | ③ 論理的思考力  |
|                                 | ④ 自己抑制力   | ⑤ 社会力     |           |

B 次の文は、「令和2年度版 学校教育における指導の努力点」（沖縄県教育委員会）の一部である。文中の  に入れるのに最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

学校教育においては、児童生徒に夢や希望を育み、時代の変化に力強くかつ柔軟に対応し、主体的に生きることができる自立した社会人・職業人の育成を図ることが求められている。

このため、教育活動全体を通じて必要な資質・能力の育成を図り、児童生徒のキャリア発達を促す取組を推進し、望ましい勤労観・職業観の育成に努める必要がある。

(1) キャリア教育に関わる資質・能力の育成

キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」に示す4つの能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、、キャリアプランニング能力）を統合的に捉えると以下の3つの資質・能力に整理することができる。キャリア教育を通してこれらの資質・能力の育成に努める。

(以下省略)

- |                                 |          |          |          |
|---------------------------------|----------|----------|----------|
| <input type="text" value="35"/> | ① 課題解決能力 | ② 課題克服能力 | ③ 課題減少能力 |
|                                 | ④ 課題対応能力 | ⑤ 課題改善能力 |          |

C 次の文は、令和2年度版「『問い』が生まれる授業サポートガイド」（令和2年3月沖縄県教育委員会）で取り上げている「学習評価」（資料）の一部である。文中の  に入れるのに最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

評価は、1単位時間の授業の中でも、認め、励まし、褒めるなど無意識のうちに何度も行われている。子供を受け入れ（受容性）、善し悪しを明確に示し（基準性）、意識を高め、次なる取組に生かせる（方向性）教師が、洞察・掌握・があり、子供一人一人を確実に伸ばすことのできる教師であるといえる。

- |                                 |       |       |       |      |       |
|---------------------------------|-------|-------|-------|------|-------|
| <input type="text" value="36"/> | ① 指導力 | ② 率先力 | ③ 統率力 | ④ 能力 | ⑤ 組織力 |
|---------------------------------|-------|-------|-------|------|-------|

6 次の各問いに答えよ。

次の [ 37 ] ~ [ 41 ] に入れるのに最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

(1) アメリカ公教育の父と呼ばれる [ 37 ] は、マサチューセッツ州教育委員会教育長として、教育の無償性、就学の義務、政治的・宗教的中立性に基づくコモン・スクール構想を提唱した。

- [ 37 ] ① ホーレス・マン                      ② キルパトリック                      ③ ウォッシュバーン  
④ デューイ                                      ⑤ モリソン

(2) 1889年に大日本帝国憲法が公布され、天皇主権の政治体制が整うと、[ 38 ] を内閣法制局長官の井上毅が起草し、儒教主義的徳育を推進する元田永孚が修正した後、1890年に明治天皇から下賜された。

- [ 38 ] ① 学制    ② 教育令    ③ 教育勅語  
④ 国民学校令                                      ⑤ 改正教育令

(3) [ 39 ] は、世界で最初の知能検査を作成した。この知能検査の基本的な考え方と方法を踏襲して作成された検査では、一般に精神年齢や知能指数が算出されるようになっている。

- [ 39 ] ① ジェームズ (James, W.)   ② ビネー (Binet, A.)                      ③ ウェクスラー (Wechsler, D.)  
④ ピアジェ (Piaget, J.)                      ⑤ ヴント (Wundt, W.)

(4) スキナー (Skinner, B.F.) やクラウダー (Crowder, N.A.) により考案された [ 40 ] は、ティーチング・マシンなどにより学習材料が与えられ、学習者が自分のペースで学習を進めていくことを可能にするよう工夫された個別の学習方法である。

- [ 40 ] ① 有意味受容学習                      ② ジグソー学習                      ③ 発見学習  
④ 完全習得学習                              ⑤ プログラム学習

(5) 技能学習において、練習量を横軸、学習内容の課題成績を縦軸にとった学習曲線を作成すると、初めに急速な進歩が認められるが、途中で一時的な進歩の停滞期間が出現する。

この停滞期間は [ 41 ] と呼ばれる。

- [ 41 ] ① プラトー    ② レミニセンス    ③ プライミング  
④ リハーサル    ⑤ チャンキング

7 次の各問いに答えよ。

次のA・Bの文は、生徒指導提要（平成22年3月文部科学省）の一部を抜粋したものである。文中の□42～□45に入れるのに最も適当なものを、次の①から⑤までの中から一つ選び、記号で答えよ。

A

教育相談の新たな展開について簡単に紹介します。これらは、教育相談に必要な人間関係を養うのみならず、狭い意味での生徒指導の手法でもあるといえます。

なお、実施に当たっては、各教育活動の特質を考慮して、授業の中で実施したり、授業以外の活動として実施したりするなどの工夫が求められます。

図表5-3-3 教育相談でも活用できる新たな手法等

□42	グループ体験を通しながら他者に出会い、自分に出会います。人間関係作りや相互理解、協力して問題解決する力などが育成されます。集団の持つプラスの力を最大限に引き出す方法といえます。学級作りや保護者会などに活用できます。
□43	様々な社会的技能をトレーニングにより、育てる方法です。「相手を理解する」「自分の思いや考えを適切に伝える」「人間関係を円滑にする」「問題を解決する」「集団行動に参加する」などがトレーニングの目標となります。 障害のない児童生徒だけでなく発達障害のある児童生徒の社会性獲得にも活用されます。

- 42 ① アサーショントレーニング      ② アンガーマネジメント      ③ グループエンカウンター  
④ ソーシャルスキルトレーニング      ⑤ ライフスキルトレーニング

- 43 ① ピア・サポート活動      ② アサーショントレーニング      ③ ライフスキルトレーニング  
④ ソーシャルスキルトレーニング      ⑤ アンガーマネジメント

B

暴力行為は、社会において許されない行為であることから、「学校においてもいかなる理由からも認められないし絶対に許されない行為である」と暴力を明確に否定するとともに、「暴力は□44の侵害でもあり□44尊重の精神に反する」との認識を全教職員が共有した上で学校における一致協力した取組が不可欠です。

暴力行為への指導に当たって教員は、問題を起こした児童生徒との信頼関係に配慮した対話を心がけるとともに、暴力が発生した背景と思われる一人一人の資質・性格や生活環境などを把握し、きめ細かく理解した上で、児童生徒の指導や援助に結び付けていく必要があります。

なお、学校における□45の破壊や他の児童生徒の学習を妨げる暴力行為に対しては、教職員の毅然とした対応や解決に向けた粘り強い姿勢が求められるとともに、場合によっては出席停止などの措置が必要となることもあります。

- 44 ① 生存権      ② 自由権      ③ 教育権      ④ 人権      ⑤ 主権

- 45 ① 施設      ② 秩序      ③ 校則      ④ 教育環境      ⑤ 規範